

## 広報づくりを体験!

8月29日～31日、保田中学校2年生が2名、秘書広報課へ職場体験に来てくれました。

一眼レフを使った撮影や、インタビューなど、慣れないながらも一生懸命取り組みました。

次の記事は中学生自ら取材を行い、写真を撮影して記事にまとめたものです。



## 有田の宝物

4月にダイエーから有田市役所に派遣されてきた向後周一さん（地方創生推進監・経営管理部理事）に話を聞きました。

### ■有田市に来て思ったこと

海と山と川などの身近な所にある自然が素晴らしい。また、人が優しいと思いました。

### ■仕事で大切にしている思い

有田市の宝物を見つけて市内の人にも市外の人にも知ってもらい、まちを輝かせたいと思っています。



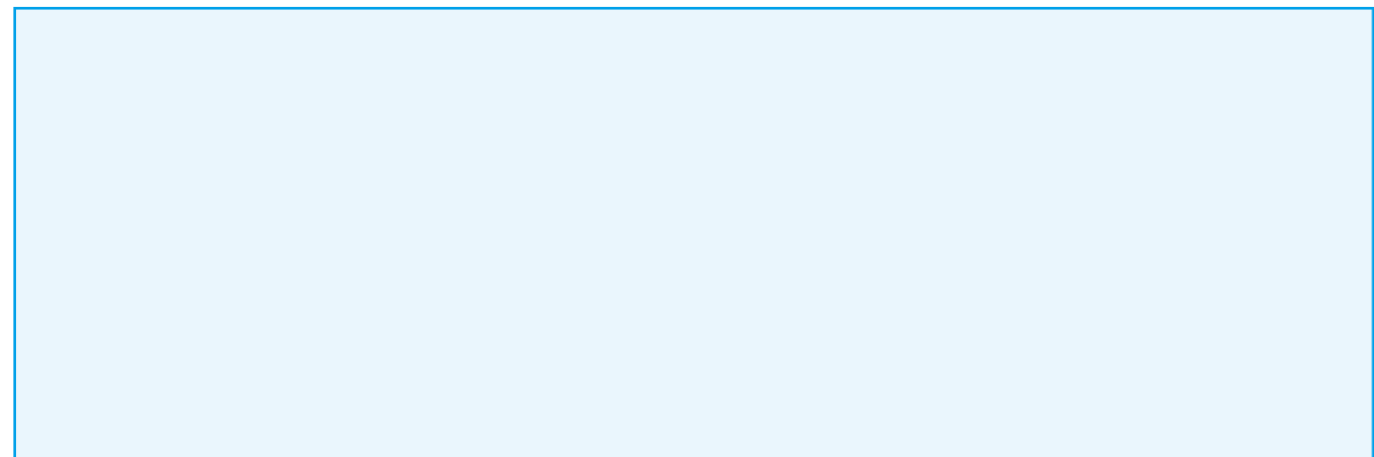
## みかん畑を守る!

8月29日（火）に山田原で中山間地域等直接支払制度の現地調査を行いました。この制度は、山間地域で働く農家に対して補助金を支払う制度です。

この日は、調査対象となる地域に耕作放棄がないかを農家の方と有田みかん課の職員と一緒に畑を確認しました。

農地を守るため、みんなで活動しています。

広告



龍谷大学生 持ち込み企画

# 有田市 魅力発見プロジェクト No.6

龍谷大学生による持ち込み企画『有田市魅力発見プロジェクト』の第6弾です。

有田市の新たな魅力を発掘するため、今回は道ゆく人々にインタビューを行いました。テーマは「有田市での夢(こんなまちになってほしい)」です。

## 今あるもので

今回、私たちは有田市民の方々が求めているものを探すために街頭インタビューをさせていたいただきました。

インタビューの内容は、「有田での夢(こんなまちになって欲しい)」です。

まず初めに、ずっと有田に住んでいるという69歳の方にお話を伺いました。

Q 有田での夢ってありますか?  
A このままであってほしいかな。生まれてからずっと有田にいたいと思ってたんやけど、半年移っていたことがあってね。けど有田に戻ってきてん。あの意味で夢が叶いそうかな。



思っていた回答とは少し違っていました。

もつと何かがあつてほしい、何かイベントを

開催して欲しいなどの声があると思つていたのですが、「このままであってほしい」という予想外の答えに魅力を感じました。



インタビュー風景

また、何人かの高校生にもお話を伺いました。そこで気になった答えがひとつありました。

それは、

「デートする場所がない!」  
という高校生らしいものです。しかし、その高校生はこう続けます。

「けど、このまちはこのままでいいかな」

有田の人は今の有田市が好きなんだなということがすごく伝わってきました。

今の有田は変わって欲しいな  
いけど、欲しいものもある。  
そんな矛盾を抱えた市民のみ  
なさんのために私たちが考えた  
のは、

「今あるものから、デートスポットを見つけたい」

という答えです。もつと大きな視点から言うと、「今あるものから、ほしいものを見つけ出せばいい、作り出せばいい」というものです。

私たちは、新しく何があれば有田の人々は喜ぶのだろうかと考えていましたが、今回のインタビューを通じ、このような考え方を見つけ出すことができました。

「ほしいものを見つけ出す」ということで、早速実践してみたいと思います。

次号では恋多き女子高生のために、私たち龍谷大生が有田にあるデートスポットとしておすすめの場所を探しに行きたいと思つています。新たな発見ができるかも・・・。



次回、有田のデートスポットを探しに行きます!

広告

